

PRESS RELEASE 1/3

2016年2月22日

株式会社セスタンテ

**別府市 国内外市場に向けた竹細工の新製品を発表
平成 27 年度 別府竹細工新製品開発事業**

株式会社セスタンテ(東京都港区、代表取締役:中嶋吾)は、別府竹製品協同組合(大分県別府市、理事長:岩尾一郎)と進めていた「平成 27 年度 別府竹細工新製品開発事業」において本日新製品を発表しました。



開発案件

別府竹製品協同組合員の中から立候補した若手 5 名の竹細工職人(伝統工芸士 1 名を含む)とプロジェクトアドバイザーである中嶋吾による、竹製品の共同製作。中嶋はアートディレクターとしてロゴマークのデザインやイメージの構築なども担当。

開発テーマ

別府竹細工の伝統的な技術を継承しながら、現代のライフスタイルに合った新製品を開発し、国内外の市場に向けて発信する。

本件のお問い合わせ

株式会社セスタンテ: nakajima@sestanteinc.jp / 03-6821-7770 担当/中嶋

PRESS RELEASE 2/3

開発コンセプト

- 1) 竹製品の再解釈
現代のライフスタイルに合った竹製品の考察
- 2) 籠の構造体からの解放
籠という形状から脱却することで生まれる形状の自由度と課題点の探求
- 3) 異素材との融合
異素材とのコラボレーションによって生まれる新たな可能性と、構造体への強度補強という課題の解決

開発製品

アイテム：竹の筒状網地を透明アクリルに封入したフラワーベース5種類

サイズ：高さ 160mm、幅 80mm、奥行 80mm



網代編み / 中岩 孝二
(伝統工芸士)



麻の葉編み / 松田 浩樹



ござ目編み / 渡辺 文明



差し六目編み / 一木 律子



やたら編み / 森 友恵

販売予定価格:4万円台

PRESS RELEASE 3/3

ロゴマーク

国内はもちろんのこと、海外でも親しまれるようなプロジェクトのロゴマークを考えました。英文表記の Beppu Bamboo の頭文字 B と B を図案化し、その中央に竹のフォルムが感じられるような遊びを配しています。



パッケージ

地域を連想させる色として、古くから大分県に伝わる柑橘類「橙」の橙色をモチーフにしました。今では「かぼす」の方が一般的ですが、その栽培が始まったのは近年と聞きました。今回、伝統を継承しつつも新しい取り組みを志すプロジェクトや製品を表現する上で、あえて古いものを見直してみることにしました。



プロジェクトメンバー

ディレクター: 大谷 健一 (別府竹製品協同組合 専務理事)

メンバー: 中岩孝二 / 松田浩樹 / 渡辺文明 / 一木律子 / 森友恵 (別府竹製品協同組合員)

グラフィック: 網中 聖二

カメラマン: 阿部 優

アドバイザー、アートディレクター: 中嶋 吾 (株式会社セスタンテ 代表取締役)

以上。